

- 3月 1日 日本共産党中部地域後援会「新春の集い」
 3月 3日～3月21日 県議会・2月定例会
 3月 9日 東城町で県政報告会
 3月14日 県議会・連合委員会 原発関係省庁参考人質疑
 3月16日 「県民が決める原発再稼働の是非～県議とともに考える県民投票の意義～シンポジウム」パネリストとして参加(上越市市民プラザ)
 3月26日 上越地域医療構想調整会議(上越医師会館)
 3月27日 「柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う県民投票条例」制定を求める署名提出・本請求集会
 3月29日 上越地域の医療を守る会総会(直江津学びの交流館)
 4月 6日 高田城址公園観桜会神輿渡御出発式(極楽橋付近)
 4月 7日 県立看護大学入学式
 4月 7日 吉川高等特別支援学校入学式
 4月11日 桜の写真家「高波重春」蔵出し展(安塚コミュニティプラザ)
 4月16日～18日 県民投票条例案審議のための臨時議会
 4月22日 直江津港協会の総会
 4月27日 大町二丁目町内会総会
 5月 1日 メーデー集会(雁木通りプラザ)



- 5月 7日 社交飲食業生活衛生同業組合総会
 5月11日 上越9条の会20周年記念「戦後80年歌と講演のつどい」(リージョンプラザ)
 5月13日 県議会 厚生環境委員会視察同行(上越市内)
 5月14日～15日 県議会・産業経済委員会視察(佐渡)
 5月16日 吉川高等特別支援学校後援会役員会
 5月17日 上越市合併20周年記念式典(オーレンプラザ)
 5月18日 県政報告会(上越市市民プラザ)



- 5月19日 教育現場の現状について教員と懇談
 5月23日 柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会報告集会(新潟県生涯学習センター)
 5月23日 「地域医療を守る県実行委員会」要望書提出同行
 5月24日 高士地区運動会(高士小学校)
 5月25日 県民投票条例案否決・怒りの報告会(上越市市民プラザ)
 5月26日～28日 県議会 防災脱炭素社会づくり委員会視察(さいたま市・つくば市・宇都宮市)
 5月31日 姫川・関川総合水防演習(糸魚川市 姫川河川敷)

登録お願い

馬場ひでゆき公式ホームページを公開しています。また公式LINEも始めました。ぜひご登録をお願いいたします。

公式LINE



Instagram



ホームページ



最近は撮影機材も揃えて動画にチャレンジしています。左記のすべてで見ることができます！ぜひ見てください。



発行：馬場ひでゆき事務所

新潟県上越市本町3丁目3-3
 ダイアパレス高田2番館2階

電話 025-546-7110

FAX 025-546-7666

kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp

https://babahideyuki.jp/

営業時間 月～金曜 10:00～16:00



馬場ひでゆき

活動報告

vol.8
2025.夏号

署名提出・本請求集会

県民の切実な願いを実現してください！



ご挨拶

県議会議員として、3度目の夏を迎えています。

1年目の夏は地元の市議さんと現場視察をしながら、干ばつ対策に奔走しました。2年目の夏は、直江津地区の医療体制維持のための署名活動に住民の皆さんとともに取り組みました。

そして今年は、4月の臨時議会で原発再稼働に関する県民投票条例案の審議がなされ、その後の対応に力を注いでいます。

条例案は残念ながら否決されましたが、14万3千人余の方が署名に託した思いを何とか実現するために、これからも諦めず、粘り強く追及してまいります。

今回の臨時議会では、連日傍聴席がほぼ満席となり、多くの県民の皆さんから議会での議論に関心をもっていただきました。議会での報告をこれからも続けることが私の重要な役割であると感じました。

この報告書がお手元に届くころには、6月議会が始まっています。新潟まで足を運ぶのが難しい方も、インターネット中継で傍聴することが可能です。ぜひ一度、皆さんの代表である議員たちがどのような発言をしているのか、直接ご覧いただければと思います。私自身もその責任の重さを改めて胸に刻み、議会に臨みます。

お知らせコーナー

馬場の話を聞きたい方へ

現在各地で県政報告会を実施しております。少人数でもご要望があれば伺いますので、ご希望の方は事務所までご連絡ください。



～略歴～

1964年旧高士村(現上越市)に生まれ、現在61歳
 高士小学校、高士中学校、高田高校、東京大学法学部卒
 宇都宮健児弁護士に師事

1998年に弁護士登録し、新潟市内で弁護士活動開始

2003年に上越市本町3丁目に弁護士事務所を開設

2008年に友人らと共に高田日活(現高田世界館)の維持保存に奔走

2016年市民連合・上越の共同代表として、市民と野党の共同の先頭に立つ

*趣味は山歩き、TVドラマ鑑賞

*現在、子ども3人(2女1男)は独立し、妻と母と共に暮らす





切実な要求を県政に繋ぐ！ ～馬場ひでゆきの議会活動～

県民投票条例案否決～これで終わりにはさせません！

4月16～18日に臨時議会が開催され、住民団体が集めた署名に基づいて直接請求をした**原発再稼働についての県民投票条例案**が審議されました。今回は、この審議の内容をダイジェストで報告します。

16日(1日目)

花角知事 条例案に消極的姿勢

まず、直接請求をした住民団体の請求代表者8名が意見陳述、その後、知事が条例案についての意見を述べました。条例案に否定的な内容でびっくりです！

●**再稼働の是非**は、地域の経済・雇用・財政への影響、国全体の経済・産業の発展や、地球温暖化対策等にも関連する**広範で複雑な問題**である。

●したがって、条例案第10条に規定する「賛成」又は「反対」の二者択一の選択肢では、**県民の多様な意見を把握できない**。



当事務所で臨時議会の視聴会を開催した様子

17日(2日目)

馬場と花角知事との 一問一答

2日目は、条例案についての審議です。各会派の代表者が登壇しました。私も知事に質疑しました。その質疑で明らかになったのは、**知事の言う「県民に信を問う」という言葉の意味**です。

私は、知事に対して「県民に信を問う」とはどういう意味なのかを問いました。その普通の言葉の意味からすれば、県民投票或いは県知事選挙となるはずですが、知事が県民投票条例案に慎重な態度をとっていたために、「県民に信を問う」の内容を明らかにしなかったのです。

知事は「**選挙だけでなく、議会での議決による信任・不信任もありうる**」と言いました。この発言には驚きました。原発の再稼働の是非の判断につき県民に意見を聞くこともなく、県議会で議決して終わりということもあるということです。

私は「**議会で決めるというのであれば、県民の皆さんが原発再稼働に対して直接意見を表明できないのではないかと**」と質しましたが、知事は「その先のことで申し上げられない」と実質的な答弁を拒否しました。知事の態度は不誠実です。



馬場ひでゆき 6つの約束

- 1 みんなの声を政治に活かす
- 2 一人親・子育て世帯の支援
- 3 病院・医療・介護の充実
- 4 街をつくるムラを守る
- 5 原発再稼働に反対を貫きます
- 6 大軍拡・大増税ストップ



18日(3日目)

討論・採決



自由民主党の反対討論

- 原発再稼働の是非は、二者択一では県民の多様な意見を把握できない。
- 原発は、高度な専門知識を要する複雑なテーマで、電力供給の安定性、エネルギー安全保障という国家課題と直結し、**県民投票の対象としてふさわしくない**。
- 県民投票に法的拘束力はないが、投票結果は、**議会の自由な議論や知事の合理的判断に影響を及ぼす**可能性がある。

馬場秀幸の賛成討論

- 憲法95条は、国から不利益を押し付けられる**住民が投票によって意見表明できる**ことを定めている。今回の条例案も、憲法95条の理念に沿うものであり、極めて重要な民主主義的な価値がある。
- (知事意見について)二者択一でも、県民のおおまかな意見がわかる。公聴会の実施とも矛盾しない。知事は公聴会の開催などで多様な意見を聴取することが可能だ。**知事の見解は屁理屈であり、知事の県民に向き合う姿勢は不誠実**。
- (自民党の「原発のような高度で複雑な問題は住民投票になじまない」との意見について)巻原発の住民投票を思い起こすべきだ。巻町の住民は、分断やしこりがあったかもしれないが、住民投票を実施し、東北電力に原発立地を頓挫させた。現在では賢明な判断をしたと評価されているはずだ。そして、その住民投票制度は全国に広がっていった。この事実が何よりも**住民だって適切な判断ができるんだ**ということを物語っていると私は確信している。

議案は、賛成16:反対36で否決

結果は残念ですが、**自民党会派や花角知事が県民の意見表明に極めて冷淡であることがこの議会でも明確**になりました。引き続き議会への監視を強め、世論を盛り上げていきましょう。

会派	議員数	賛成	反対
自由民主党 (議長を除く)	31	0	31
真政にいがた	3	0	3
公明党	2	0	2
未来にいがた	9	9	0
リベラル新潟	6	6	0
無所属(馬場)	1	1	0
合計	52	16	36

* 私の感想 *

否決はされてしまいましたが、議会の議論を通じて、花角知事も自民党会派も、原発の再稼働の是非につき県民の意見を聞きたくないのだということがよくわかりました。

しかし、県政の主人公は、私たち一人一人の県民です。これで終わりにさせてはいけません。粘り強く県民投票の実現を求めていきましょう。私も引き続き頑張ります。

